

委員会B議事録

(作成者氏名 松川 敏弥)

会議名	第1回ワーキング委員会B
開催年月日	令和5年11月7日(火) 13時00分～15時10分
開催場所	日本自動車車体整備協同組合連合会 事務局
出席者氏名(出席者数 9名) 欠席委員数(0名)	(専門家委員) 服部 厚司、谷 洋紀、川島 準一郎 (業界側委員) 小倉 龍一、泰楽 秀一、定光 純一、吉岡 一三、松川 敏弥 (進行役) 長谷川 明憲
協議事項	1. 本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について 2. アンケート調査集計結果報告 3. 専門家委員からのヒアリング 4. テーマ実現に向けたアクションプランの検討 5. 第2回ワーキング委員会Bの開催について
経過の概要(会議資料別添)	1. 別紙資料に基づき説明した 2. アンケート調査の集計結果及び分析内容について説明した。 ※服部氏より回答率の低さは関心が低いのではないかとの指摘 3. 専門委員と別紙資料を参考に対談を行った ・作業廃棄物処理費用の現状について 設備投資1000万以上に対して、廃プラは3円/kgでしか売れない ・自動車修理取替等で発生した部品に関してはインセンティブも働かない為、 買い取れない ・人件費、輸送コストが問題でリサイクルパーツは今後上がるばかりである ・リサイクルパーツは約70%がオークションで調達している ・EUメーカーの新バンパは廃プラ品を約25%混ぜて製作している→今後 廃プラ高騰の予測をしている ・日本バンパー回収率は全体で約60万本/年。主にプラパレット、 アンダーカバーに利用のみ。今後はEUメーカーの指針に合わせる流れになり、 日本でも廃プラが多く使われると予測→資源回収インセンティブも追い風になり そうな気配 ・ヤフオク、メルカリについて、規定範囲内での会員による出品自体は問題なし としているが、購入者側が正規リサイクルパーツとの違いが分からず購入してしま い風評被害防止の為、差別化を図りたい

・各グループが取り組むSDGsの活動について

＜ビックウェーブ服部氏＞

地域活動としてクリーンビーチ活動を行っている（年1回は実施したい）
納品書にCO2削減量の記載しているので活用してほしい

＜NGP谷氏＞

豊島再生プロジェクトの実施

瀬戸内オリーブ基金への寄付活動

国立公園現状回復活動、被災地復興支援活動

自動車リサイクル部品環境貢献書の発行をしているので活用してほしい

＜JARA川島氏＞

納品書のCO2削減量の表示

地域活動として第一水曜日清掃活動（会員より写真報告 表彰あり）

ワクチン接種寄付活動

4. 一緒に取り組めることはないのか

今後話し合って相乗効果のある取り組みを考えていきたい

5. 第2回委員会の開催について

出席委員の予定を確認し、第2回本委員会の開催日を決定した。

第2回ワーキング委員会B： 12月1日（金）14時から